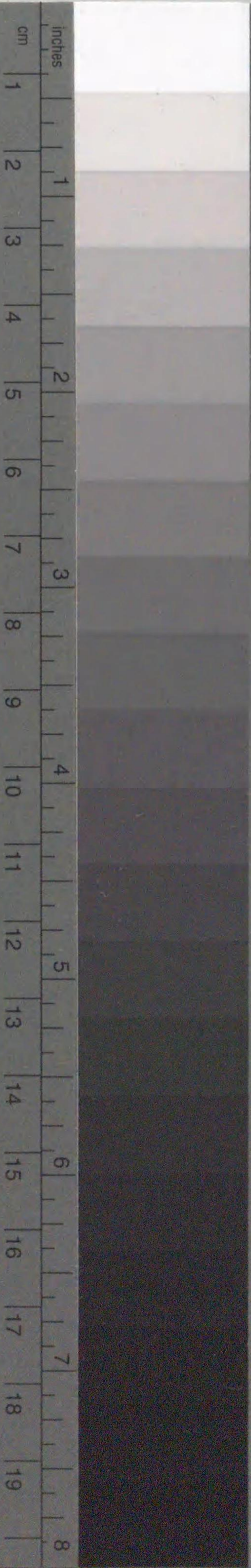


Kodak Gray Scale



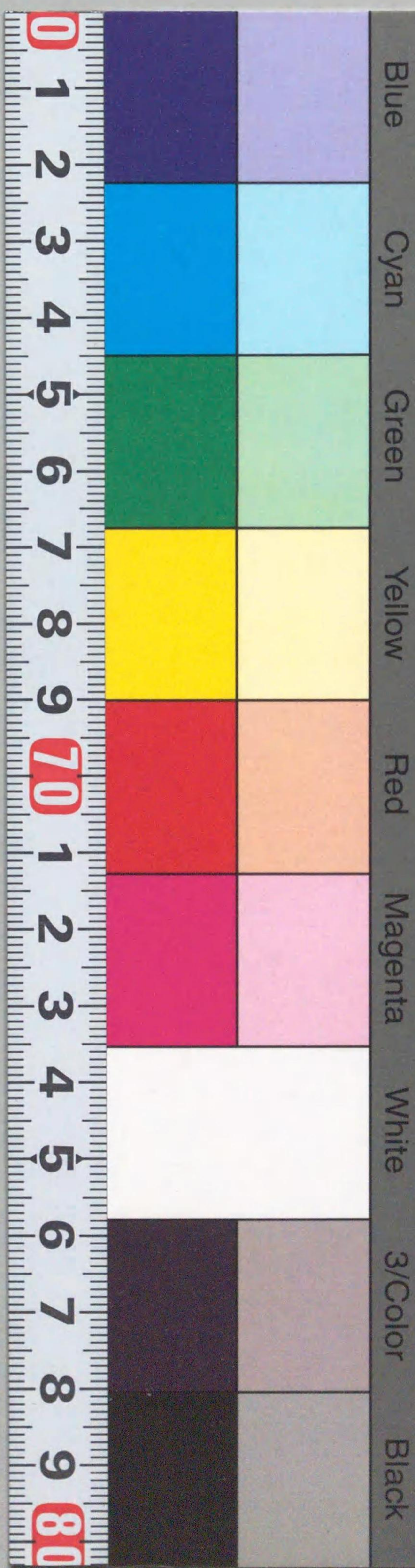
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



913.382
~
W

913.382

~~Sw712n~~

913.382

n



216426

前田本寢覺解説



の物語中佳作となすべき小説の一である。その内容は、容貌學才共に秀でたる貴公子と美姫とが契を結ぶことより始まりて、その後種々の障碍に遭へるも終に再び相會するに至るといふ構想に成れるものである。作者は未詳であるが、更級日記の奥書拾遺百番歌合の記載等によつて、古來菅原孝標女の作とされてゐるが、他に反證のなき限り、しばらく所傳に従ふべきである。

この物語は統一ある構想、流麗なる文章等より見れば、同時代の狭衣濱松中納言物語等に比して毫も遜色なき佳作であるにかかはらず、傳本きはめて少く、加ふるに中間及び末尾に大闕卷があつて、從來ほとんど顧みられなかつた物語であるが、最近國文學隆盛に伴ひ、頼みに學者の注意する所となり、これが研究も亦従つて盛にならうとしてゐる。この際本財團に於ても、侯爵前田家藏の寢覺三卷を複製して、一般研究者の參考に資する事となつたのである。

二

前田家藏三卷の原本は縦九寸、横六寸七分五厘、楮紙袋綴の冊子に

して、青色紙表紙、中央に各「寢覺上」(或は中下)と題す。下卷の表紙に「兼好が寢覺記とは別書也」とあり、更に朱にて「夜半のねさめ歟末によるのねさめたゆるよなくとそとあり」とあるが、これは松雲公五代綱紀の自筆である。但しここに兼好とあるは蓋しカネヨシの當字で、實は一
條兼良をさすのであらう。

この本は近世初期の書寫に係るものと思はれ、大體完全であるが、わづかに中卷百二丁から十丁に亘つて少しく虫損があり、又同卷中もと二三丁の誤綴があつた。今複製する所の本は、原本よりも稍小形であるが、その虫損の部分の闕字を修補し、かつ丁數の順序を検して誤綴なきやうに訂正した。又複製本には見えないが、原本にはそ

の下端に雨水に起因するシミがある。これは過ぐる大正十二年の大震災の當時に受けた汚損である。

三

寢覺の現存諸本はきはめて少い。この前田本の外にわづかに竹柏園藏本・帝國圖書館藏本・靜嘉堂文庫藏本・東北帝國大學藏本(舊狩野文庫藏)の數種を數ふるのみである。しかして是等の本は中間及び末尾の大闕卷をはじめとして、記事の錯簡・脱文等の細部に至るまで一致し、大體同一系統の本と目すべきものである。就中竹柏園本・帝國圖書館本・靜嘉堂文庫本の三者は、特に密接なる關係があり、かつ諸

本の書入によつていづれも所謂島原侯御本なるものの系統である事が分るが、卷序に誤あるを以て、よろしく五・四・一・二・三の順位に正すべきである。次に東北大學本は、島原侯御本系統の三本と前田本との中間に在り、注意すべき本たるに異論はないが、書寫の誤多く、かつ卷序にも亦誤あるを以て、これまた一・三・二・四・五の順位に正すべきである。

前田本は前記諸本に比して書寫年代最も古く、かつ本文にも特色があつて、これによつて他本の誤脱の補正され得る場合も少くない。かつ卷序に誤のないのはただこの本のみの特徴である。

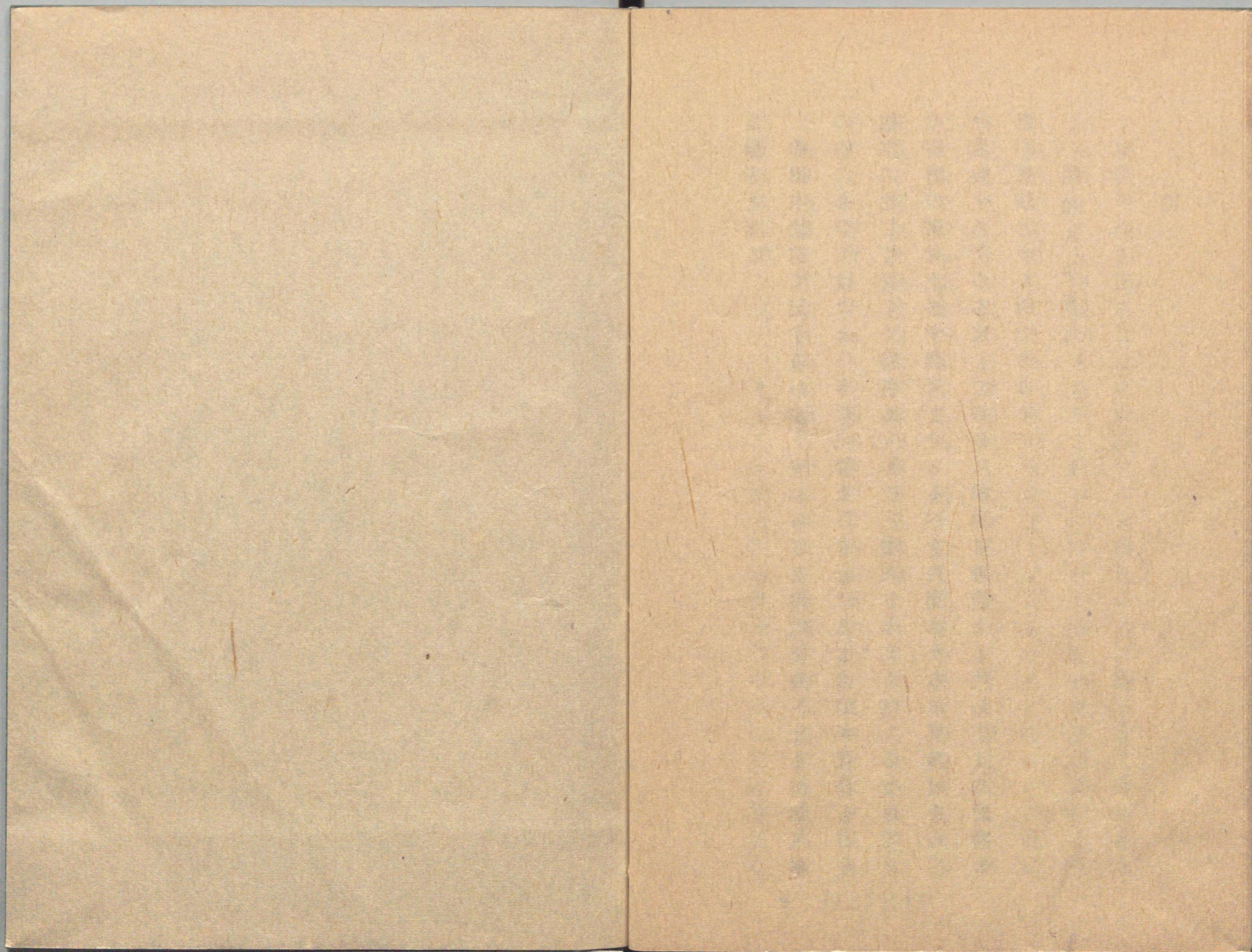
四

寢覺の現存諸本には中間・末尾の大闕卷の外に錯簡・脱文等がある。前田本もまた同様であるが、これ等については、近世末期の國學者横山由清が考證してその一部分を訂正してゐるけれど、なほその他にも、脱丁若しくは脱文と思はれる部分あるを以て、それ等は、他の資料によつて考へ改むべきである。因みにそれ等の資料の中、原富太郎氏藏の寢覺物語繪卷は、末尾の闕卷中に位すべきもので、繪詞四段に過ぎない斷片とは言へ、右闕卷部の考察の爲に缺くべからざる参考となり、故藤岡作太郎氏の紹介せられたる所謂中村本は、闕卷以外の部分の梗概書と目すべき本で、中間の闕卷部分の考察の爲に重要な

る参考となる。

前田本は前に記するが如く、少からざる誤脱を傳へたる現存諸本の中にあつては、たとひ未だ完璧ならずとするも、書寫年代最も古く、他本に比して著しく特色あり、かつ正確なる本文を傳ふるを以て、この物語の研究上必ず参考とせらるべき古寫本たるに異論はない。今複製する所の本にして、幸ひに學界に裨益する所あらば、本財團の深く喜びとする所である。

昭和八年五月





孫

子

集

913.382-n



1200600644892

集約済 4冊

昭和八年八月二十五日印刷
昭和八年八月三十一日發行
(非賣品)

尊經閣叢刊癸酉歲配本

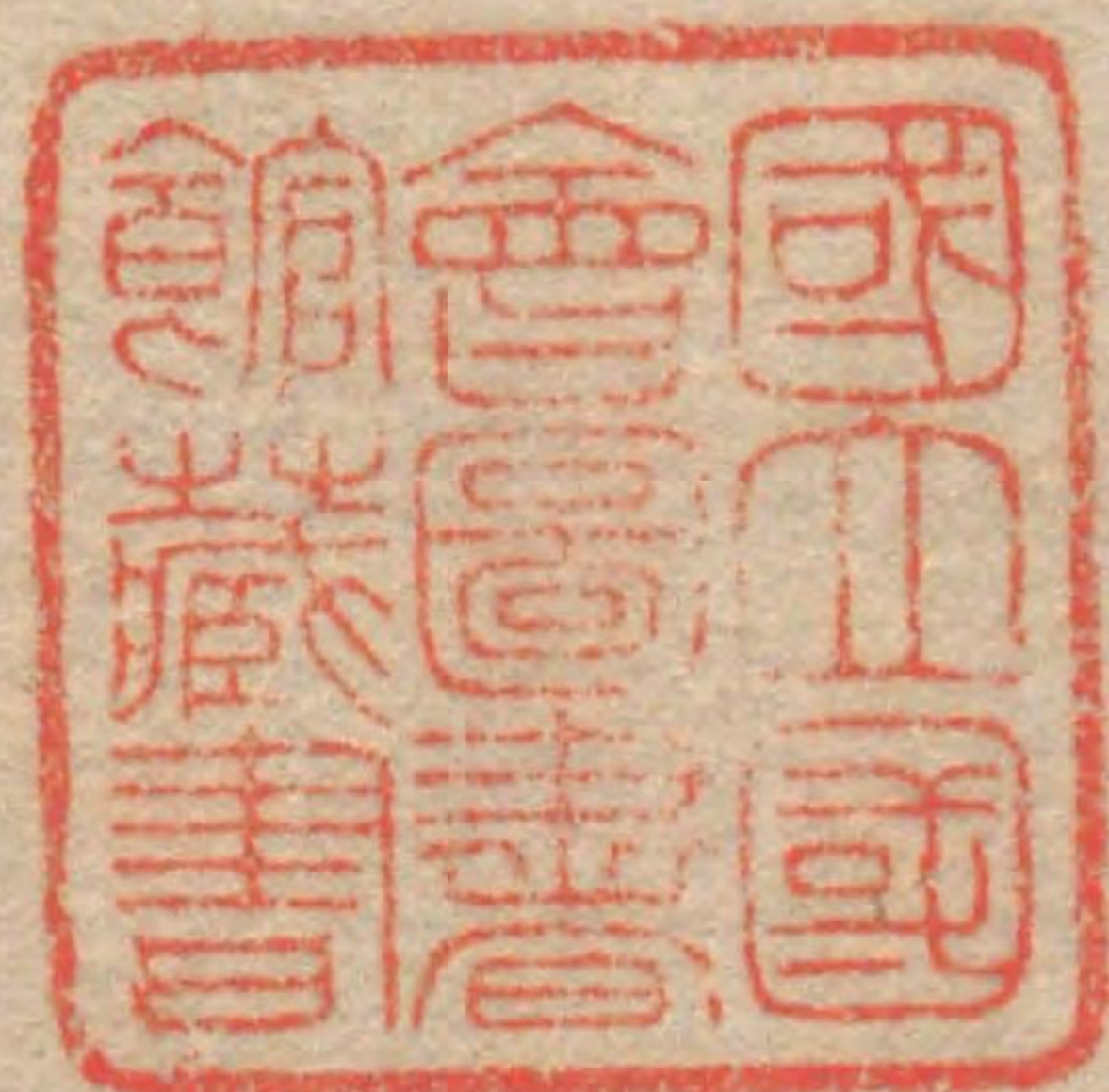
東京市目黒區駒場町八六一
前田保壽館内

發行所 育 德 財 團

右代製者 東京市澁谷區東大久保三丁目三二七

石 黒 文 吉

印刷者 東京市芝區西久保廣町二十六
七 條 憲 三



216423~216426

